

## 調査委員会における調査研究報告書

教科名（音楽）

No. 1

調査研究の観点	所 見	
	発行者（教育出版） 発行者番号（17）	発行者（教育芸術社） 発行者番号（27）
1 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌唱領域では全学年を通して共通教材の扱い方が工夫されており、低学年で交互唱や輪唱の教材が数多く取り入れられている。中・高学年では部分二部合唱や二部合唱の教材も多く取り入れられているため、児童の興味・関心を引き出す配慮がなされている。</li> <li>○ 鑑賞の学習においては低学年で拍やリズムを意識した内容の楽曲が多い。高学年では楽器の音色を楽しむ楽曲が多く、写真や楽器の説明も充実している。</li> <li>○ 音楽づくりの内容は低学年が充実している。</li> <li>○ 鍵盤ハーモニカの導入指導はとても分かりやすく明示されている。</li> <li>○ 学習のめあてが明示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 我が国に伝わる旋律や声の表現について系統立てて取り上げられている。歌唱教材には「旋律の重なり」を意識したものが多く、充実した内容になっている。</li> <li>○ 高学年の鑑賞教材は楽器の写真や説明がある。</li> <li>○ 音楽づくりは6年間の系統立てた題材構成により、発達段階に応じた積み重ねができ、主体的に学習に取り組めるようになっている。</li> <li>○ リコーダーの音の出し方では児童が音の出し方をイメージしやすいヒントやコラム、ワンポイントアドバイスが豊富に取り上げられている。</li> <li>○ 学習のめあてが明示されている。</li> </ul>
2 構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一つ一つの教材は、児童が興味をもって楽しく取り組むことができるものが取り上げられている。</li> <li>○ 6年間の学習が系統的に題材構成されている。</li> <li>○ 学習の目標が大きく示され、大事な箇所は色を変えて意識することができるように工夫されている。</li> <li>○ 各学年とも巻末にまとめのページがあり、学習内容の確認ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一つ一つの教材は、児童が興味をもって楽しく取り組むことができるものが取り上げられている。</li> <li>○ 6年間の学習が系統的に題材構成されており、学んだことが積み重ねて身に付けられるように構成されている。</li> <li>○ 学習の目標が大きく示されている。</li> <li>○ 各学年とも巻末に振り返りのページがあり、学習内容の確認ができる。</li> </ul>
3 表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも巻末に「音楽を表すいろいろな言葉（楽典）」や「音楽のもと（共通事項）」のページがある。</li> <li>○ 美しい写真が見開きでの掲載しており、児童の創造性を高める。</li> <li>○ 学年によっては透明シートのページなどがあり工夫されている。</li> <li>○ 低学年は鍵盤ハーモニカ実物大の写真、3年生はリコーダーの運指を示す写真がある。</li> <li>○ 題材名からどんな学習をしてどんな力を付けるのか、また曲ごとに音楽のもと（共通事項）が示されていて分かりやすい。</li> <li>○ 学習内容としておさえたい部分が大きく書かれ、他にもカラーで目を引くような表記がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも巻末に「ふり返り」のページがある。</li> <li>○ 美しい写真が掲載しており、児童の創造性を高める。</li> <li>○ 低学年は鍵盤ハーモニカ実物大の写真、3年生はリコーダーの運指を示す写真がある。</li> <li>○ 題材名からどんな学習をしてどんな力を付けるのかが分かりやすい。</li> <li>○ 学習内容としておさえたい部分が大きく書かれ、他にもカラーで目を引くような表記がされている。</li> </ul>
4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末の折込ページにリコーダーの運指表があり、楽譜と見比べながら演奏できる。（3年～6年）</li> <li>○ 音楽を言葉で表すための資料が巻末にある。</li> <li>○ 歌詞の内容にあった写真が掲載されている。</li> <li>○ 作詞、作曲者の振り仮名が概ね記載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭ページに「学びの地図」があり、児童が一年間で学ぶ内容を捉えることができる。</li> <li>○ 巻末にリコーダーの運指表があり、楽譜と見比べながら演奏できる。（3年～6年）</li> <li>○ 歌唱教材では、全学年にわたりイラストや写真が多く、児童が歌のイメージをもちやすい。</li> <li>○ 教科書に書き込むスペースが設けてあり、ワークシート代わりに使うことができる。</li> <li>○ 巻末資料として、作曲家やオーケストラの楽器の写真、日本の古典芸能など掲載されている。</li> </ul>